

令和 5 年度 小笠原諸島森林生態系保護地域部会

第 1 回 小笠原部会

議事概要

日時：令和 5 年 10 月 27 日（金）10：00～12：00

開催：WEB 開催

(検討事項)

(1) 指定ルート評価について

- ・指定ルート評価の時期について、昨今の異常気象、土壌流出や崩落等も考慮し安全性の確認も含め、10 年間隔ではなく 5 年間隔ぐらいで実施する必要がある。
- ⇒ 指定ルートが設定されて 10 年が経ち、今回の評価が行われた。指定ルートの管理は、小笠原村に移管する方向で話をしており、その結果次第である。
- ⇒ どこの行政機関が管理するにしても、5 年間隔程度で総合的な調査及び評価することが望ましい。その辺りもこれから検討してほしい。

(2) 指定ルート評価の今後のスケジュールについて

- ・保全利用地区内についても「指定ルートの概要」を作成するか。
- ⇒ 保全利用地区内の「指定ルートの概要」は作成する。ただし、平成 18 年に歩道調査以後、調査していないため、平成 18 年と令和 5 年の比較になる。
- ・作成された「指定ルートの概要」に課題と解決策が記載されているが、対策はなされていないと記載されている箇所も多くある。これらはこのままか。或いは、評価後に対策を行うのか。
- ⇒ 経費の問題もあり、対策出来るところは職員で対応する。
- ・指定ルートは林野庁が管理するルートの他、東京都や小笠原村が管理するものがあり、ルートによっては私有地を経由する。外来種の増加や土砂流出など、万が一の際にどこに連絡すればよいのか分からないので、ルートごとに相談すべき窓口がわかる行政区分の地図などの作成をお願いしたい。また、南袋沢ルートのように誤解を招くルートがあれば指定ルートから外すことも検討する必要があるのではないか。
- ⇒ 昨年度で鍋弦山ルートを廃止したように、利用されていないルートは廃止を含めて検討する。特に保全利用地区内の指定ルートについては、評価した上で検討したいと考える。
- ・国有林内や私有地内にある戦跡を、今後どう管理するかが大きな問題である。小笠原部会やエコツーリズム協議会などで話されているが、そろそろしっかりと協議する時期にある。
- ⇒ 戦跡や防空壕などは危険な場所であり、戦跡は指定ルート外であるため本来は立入り禁止の場所でもある。小笠原部会で検討することは厳しいと考えており、指定ルートが小笠原村に移管され、そこに戦跡が入るのであれば、まとめて移管する方法もある。別途、相

談や検討をする。

(報告事項)

(3) 石門ルートについて

- ・今回、崩壊が起きた場所は昨年場所とは違う場所か。
- ⇒ 地図上で 20 メートル程手前だと聞いている。この件を含め昨年度崩落したルートについて、来年 2 月頃に再度、崩落現場を確認し協議をする。

(4) 令和 5 年度小笠原諸島森林生態系保護地域に係る主な事業について

- ・島毎の国有林地において、世界自然遺産地域の各事業が何を実施しているかという一覧表がある。この表は 5、6 年前に作られ、非常に分かりやすい。漏れが無いようアップデートをお願いしたい。また、地域の団体が実施している協定事業を加えてもらいたい。単なるボランティアではなく、各協定に基づいて実施をしている大事な事業である。
- ・第 2 回小笠原部会では、各機関がオガサワラグワに関して取り組んでいる事業を報告していただき、情報交換をしたい。科学委員会でも、オガサワラグワに関する情報を本会で一元化する方向で了解を得ている。各機関が実施した、オガサワラグワに関する事業があれば、次回の小笠原部会で報告をしていただくようお願いする。

(5) オガサワラビロウの採取試験状況について

- ・オガサワラビロウの葉の採取に関して、ある程度成長した良い葉でなければならぬため、1 本の木から取れる葉の枚数が限られるのではないかと聞いた情報がある。現在の試験状況で、1 本の木から 6 枚の葉が取れるという結果が出たとしても、実際には 2 枚しか使えないというパターンもあるのではないかと。小笠原村には、経験のある方に、1 本の木から使える葉が実際にどの程度取れるのかなど聞いてもらいたい。今後の参考になる。
- ⇒ 本日、担当者が欠席している。この件は持ち帰る。

(6) その他（小笠原国立公園の公園計画について）

- ・公園歩道の位置付けについて環境省と林野庁でも話をしている。公園歩道になったとしても現行のルールが適用される形で話が進んでいることを申し添える。
- ⇒ 運営は歩道を管理する団体に任される。小笠原村からは現状の使い方を変えない旨を聞いている。
- ・10 月 26 日からパブリックコメントが始まっていると聞いているが、その情報が来ているかわからない。本日の出席者を含め、利用と保全に関わる島内の関係者に、パブリックコメントを受けていることの周知をお願いしたい。
- ⇒ 了解した。周知する。

(補足)

- 戦跡利用についてご指摘をいただいたが、関東森林管理局でも問題意識を持っている。誰かにしっかり管理をしてもらうことが最善だと考える。この件は国有林課を中心に、地元関係者の皆さんと議論をしていければと思う。
- 4年ぶりに母島でアカギの駆除ボランティアを再開する。11月28日に母島の桑ノ木山で実施を予定。